

## S-1 高気圧酸素治療の費用対効果 —各国の医療費と課題—

合志清隆<sup>1)</sup> 溝口義人<sup>2)</sup> 高村政志<sup>3)</sup>  
下河辺正行<sup>4)</sup> 岡元和文<sup>5)</sup>

(1)産業医科大学, 2)健愛記念病院,  
3)熊本赤十字病院, 4)戸畑共立病院, 5)信州大学

【目的】高気圧酸素(HBO)治療が重症・難治性疾患に応用され、良好な治療結果から医療費削減につながっていることを昨年の本学会で報告した。今回はHBO治療が医療費に与える影響を文献的に調べると同時に、その医療費に関する各国の問題点を検討した。

【方法】主要なデータベースを用いてHBO治療の医療費に関する文献検索を行い、さらに欧米や豪州から報告してもらった医療費に関する検討課題を紹介する。

【結果】HBO治療の医療費に関する報告は少ないが、そのほとんどがHBO治療にて医療費削減につながっているとされている。特に、重症・難治性疾患の治療では、この傾向は顕著になるとの報告が多い。また、HBO治療の費用に関する問題は各国で受けとり方が異なるが、本邦での「救急的」と「非救急的」で大幅な点数格差がある国は稀であった。

【結論】HBO治療が有効とされる重症・難治性疾患において、併用治療は効果が高いだけでなく医療費を抑制する。また、各国に共通した課題は、適応となっている疾患においても高い水準の科学的根拠が要求されていることである。

## S-2 高気圧酸素治療のコスト問題に関するアンケート結果

永芳郁文 田村裕昭 高尾勝浩 山口 喬  
川嶌真人

(医療法人 玄真堂 川嶌整形外科病院)

現在の高気圧酸素治療(以下HBOと略記)におけるコスト問題について、適応や診療報酬点数に関する問題点を明確化すべくアンケートを実施し、多くの医療機関からご協力を頂いた。今回、本シンポジウムにおいて、その結果を報告する。

調査項目は、非救急症例、および救急症例におけるHBOの経費、売上収入、粗利、の比較、および診療報酬改定の是非と改定項目についてである。

回答のあった70施設からの結果をみると、第1種高気圧治療装置群の非救急でのコスト平均は14560円、利益はマイナス5532円であり、救急でのコスト平均は15467円、利益は37307円であった。また、第2種高気圧治療装置群における非救急のコスト平均は28412円、利益はマイナス21473円であり、救急でのコスト平均は29434円、利益は28767円であった。どちらの装置群においても、非救急症例と救急症例の大きな診療報酬点数の違いが原因となって、非救急症例を扱う現場では赤字になっていることが明確となった。また、診療報酬改定に関しては、点数のみの見直しなのか、HBO装置による区別が必要か、酸素加圧に伴う使用酸素の請求の是非、適応疾患の拡大や、救急と非救急の区別をなくすかなどが挙げられた。

今回得られた結果は、それぞれの臨床現場が直面している大きな問題点であり、本学会のシンポジウムで討議され、具体的意見を背景とした学会としての診療報酬改定への動きに向けた活動が必要であると考えられた。